

理事長就任にあたって



荻野和己*

この度、長谷川嘉雄理事長の後任として理事長に就任することになりました。半世紀に近い歴史と輝かしい伝統を有する本協会の理事長という大役を務めますことは誠に光栄であると共にその重責を痛感しております。

顧みますと、本協会は戦後の混乱がまだ納まりきらない昭和24年1月25日に発足いたしましたしております。社団法人設立許可申請書に記された趣意書には「過去における本邦産業界は科学的生産方式の遅々たる結果が敗戦の重要な一因である。先進諸国の間に互して前進するためには科学性を基盤とし秩序ある生産工程を踏まねばならない。このために科学的技術水準の向上のための機関として大学と工業家との直結機関として本協会を設立し、新日本生産技術水準の向上に当たることとなった」とあります。産学協同の必要性を強く提唱されていることは印象的であります。

また、協会機関紙「生産と技術」第1巻第1号の巻頭言「技術が第一」には、わが国産業界は資源に乏しく、また資金においても条件が悪く、この隘路を切り開き列国の間に互するには非常な努力が必要である。これには技術水準の向上によって解決を図らねばならないと書かれております。さらに、以下の各号には、技術の振興、技術の重要性など本協会の使命が熱っぽく語られており、当時、協会設立に関係された大阪大学、業界の関係者のかたがたの熱意が伝わってくるのを感じる

* Kazumi OGINO
1929年1月6日生
昭和28年大阪大学工学部冶金学科卒業
現在、香川職業能力開発短期大学校、校長、
大阪大学名誉教授、工学博士
TEL 0877-24-6291

ものであります。

爾来45年、本協会は経済的な区難の時代をも乗り越え、前理事長の時代には、ハイテクセミナー、トップマネジャーのためのセミナー等を発足させ、好評を得ております。その結果、従来からの、研究斡旋、会誌の発行にセミナーを加えた3本柱の基盤による運営が軌道に乗って来ているものと思われま

さらに、今年度から大学院学生の国際会議参加への援助事業が新しく設けられ、将来わが国の科学技術を担う学生諸君に少しでもお役に立てればと実施されております。

このように事業が順調に推移しておりますことは、誠にご同慶の至りであり、これも会員各位ならびに大阪大学関係者のご協力の賜物と心より感謝申し上げる次第であります。

さて、現在のわが国の状況を考えてみます時、かのボーゲル教授がジャポン・アズ・ナンバー・ワンを書かれた1980年代とは大きく様変わりしてきております。昨今、アメリカ製造業の復権が話題となり、アジア諸国の追い上げが続くなかであって、さらに円高など、技術、経済の両面においてわが国を取り巻く環境はまことに厳しいものがあります。

ただ、このような状況にあっても独創的な技術開発力を有する企業群は世界を相手に力強い業績を上げております。正に技術力こそ企業ひいてはわが国経済を支える大きな力なのであります。

本協会設立当初の先輩諸賢の使命感と情熱に想いをはせ、協会設立の目的の達成と発展に微力を尽くしたいものと念じております。会員の皆様のご支援、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。